

総合優勝は応用化学：4年ぶり奪還！その裏に練習あり

5月23日(金)に行われた工明会運動会では、4年ぶりに応用化学チームが総合優勝しました。学生リレー、ミックスリレー、3人3脚、ムカデ競争で1位となった結果ですが、その成果には大会前の練習があったようです。その内容をレポートします。

リレー：

聞き込み調査をして教員・学生から候補者をリスト化し、タイムトライアルを実行。年明けには関係者に練習をするように伝え、今年は4回練習を行っていた。ちなみに、学生リレーは2002年から2010年まで9連覇、ミックスリレーは2010年以降連勝中とのこと。毎年、二冠を目指すことを目標に掲げることで、メンバーの意識を高めている。

*バックストレートでの仲間からの大きな声援が、意外に効くようです。

三人三脚：

全体練習を行い、そこでチームの最適化をしている。どの人の足を内側にするかなどで走りやすさに差が出るので、メンバーの並び順や足の組み方を事前にチェックするのが効果的。全体練習のほかに、紐を渡しておき、各チームが自主練習。

ムカデ競争：

何より10人のチームワークと意欲が重要とのこと。レース開始直前まで練習できるよう、ひもを渡して対応。今年のメンバー編成では、昨年に1位を獲得した学部3年生のチームを再度抜擢し、見事1位を獲得。

綱引き：

平成18年(2006年)に学科同窓会(九葉会)から、綱引きの綱が寄贈されて以来、大会前に練習を積み重ねて挑む。綱の持ち方引き方、体位置及び顔の向き、声の出し方などを資料として配布しながら練習し、今年は、競合チームの写真や漫画絵も使ったイメージトレーニングも取り入れていた。

応用化学チームは来年も優勝を狙っているようです！

